

第93回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】防犯灯の設置について

駅東大通りの東海駅からイオン東海店までの区間には街路灯があるが、その先には設置されておらず夜道を歩く際に危険だと感じている。また、不審者に声を掛けられたという話も聞いている。現在、周辺に住宅が増えているほか、商業施設のオープンも控えているため、当該歩道を利用する人も増えると思う。自治会からの要望は出していないが、防犯・安全対策として防犯灯を付けてもらえないか。

⇒【村長コメント】

今後、利用する人が増えると予想されるため、安全を守るためにも防犯灯の設置ができないか担当課に確認する。警察等との調整のために時間はかかるかもしれないが、設置できるよう検討し、結果について担当課より連絡する。

⇒【道路整備課コメント】

本路線について、街路灯・防犯灯は交差点や横断歩道部に設置しております。また、街路灯・防犯灯は電柱から電気を引き込むことから、付近に電柱がない箇所への設置が厳しい状況です。

しかしながら、中央地区の区画整理により住宅や商業施設の建築も進み、南側の歩道付近の電柱等の配置も変わることが考えられます。つきましては、今後の事業進捗に応じて適宜設置を検討してまいります。

また、暗さの一因と考えられる東海駅から県道佐和停車場線までの街路樹について、計画的に剪定してまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

【2】村道の舗装について

最近、村内の土地を買い家を建て始めた。区画に入る際に通る村道が砂利であるため、雨が降った後など水が溜まってしまう。以前、舗装してもらえないかと役場に相談したところ、「調査はするが自治会から要望してもらいたい」との回答で、いつ対応してもらえるのか不安に感じた。宅地の造成により、周辺に家も建ち始めているため、当該道路を利用する人も多く、不便に感じている人も少なくないと思う。

⇒【村長コメント】

今後どういったスケジュールで進めていくのかを担当課に確認し、結果について連絡する。

⇒【道路整備課コメント】

当該路線は自治会から同様の内容で改善要望をいただいておりますので、昨年度村職員で現地踏査を実施しました。その結果、現地の土地形状(当該路線や宅地が周囲よりも低い)から舗装よりも雨水排水設備の整備が優先であると判断し、今年度現地の測量調査を実施する予定です。調査結果を踏まえ、来年度以降に詳細設計や工事計画に入っていく予定となります。

ただし、現地の土地形状や当該路線幅員、既設埋設物等を考慮すると、設計や工事には時間がかかると想定され、その期間は現時点では見通しがつきません。

取り急ぎ、今年度の調査結果を踏まえて順次改善に向けて設計や計画を進めて参ります。

【3】原子力発電所について

父親が原発関係の仕事をしていることもあり、原発に関する問題に興味を持っている。しかし、周りには関心を持つ人が少ないと感じている。原発に関する問題に日本全体が関心を持てるようにするためにはどうしたらよいか、村長のご意見を伺いたい。

⇒【村長コメント】

村では昨年度、「自分ごと化会議」を実施し、無作為に抽出した参加者 20 人で自由に討論してもらった。その結果として「原発がなくなってしまうたら、財政的に不安」「万が一の事故に備えた避難計画が重要」など、さまざまな意見を聞くことができ、関心があるということを実感した。とはいうものの、原発への関わりはさまざまな立場があるため、賛成か反対かという問いに対しては、話しづらい雰囲気があるのも承知している。

これからさらに多くの人に関心を持ってもらうためには、一人ひとりが電気を消費する者であり、自分が使っている電気がどこから来ているかなど、身近な生活に置き換えて考えてもらうことが大切だと思う。ウクライナ問題によるエネルギーの安全保障や、環境問題なども考慮しながら、エネルギーを安定的に供給するためには、どんな選択肢が必要とされるかなどについて考える機会を持つことが重要だと思う。

【4】－1 施設の予約方法について

サークル活動で公共施設を利用している。スポーツ施設では、インターネットからの予約を受け付けているが、総合福祉センター「絆」では、電話予約しかない。「絆」もインターネットから予約できるようにしてほしい。

⇒【村長コメント】

デジタルが推進されているなか、多くの施設がオンラインでの予約を可能としている。総合福祉センター「絆」においても、インターネットでの予約システムが導入できないか検討する。

⇒【地域福祉課コメント】

総合福祉センター「絆」の予約システムにつきましては、現在「とうかい“まるごと”デジタル化構想」の中で、「絆」を始めとした村内公共施設の予約の在り方について協議を進めております。

オンライン予約の実現に向けましては、今後のスケジュール等も含め、引き続き検討して参ります。

【4】－2 道路の安全対策について

はなみずき通りから豊岡のセブンイレブンを右手に見て直進し、最初の交差点を右折し坂道を下る区間の道路について、道が狭い上にカーブが続いているにも関わらず、スピードを落とさずに通過する車を多くみかける。抜け道として交通量も多く、非常に危険に感じる。道路沿いに住宅が建ち始め、見通しも悪くなり、事故が起きてしまうのではないかと不安である。何か安全策を講じてほしい。

⇒【村長コメント】

注意喚起の看板を設置するなど、どのような対策が図れるか検討する。

⇒【道路整備課コメント】

当該道路について、現場確認を行いました。今後は路面標示等の検討を警察との協議を通して進めて参ります。

【4】-3 避難タワーの設置について

日立市内に二か所避難タワーが設置された。村内に設置する予定はないのか。

⇒【村長コメント】

現在、設置にあたる具体的な計画はないが、避難先の一つとして有効性があるかなど検討したい。ご意見として伺う。

【5】側溝の管理について

住宅付近の村道の側溝に蓋がなく、土砂が溜まってしまふなど、管理がなされていない。雑草を抜いたり、泥上げをしたりするなど、対応をしたこともあるが大変な作業である。以前、村に相談したところ、そこは農業用の用水路であり、村が管理しているところではないとの回答であったが、結局のところ泥上げしてもらった。できれば蓋をするなど、対応してほしい。今後の管理について村としてどう考えているのか教えてほしい。

⇒【村長コメント】

側溝について、所在を改めて確認するほか、今後、土砂が詰まった際にどう対応していくのか担当課と調整の上、検討したい。結果について、連絡する。

⇒【道路整備課コメント】

当該箇所につきましては、村ではなく坏土地改良区が管理する水路となっております。しかしながら現状は道路側溝としての構造にもなっているため、今後村と坏土地改良区とで協議を行い、蓋の設置も含めましてどのように管理を行っていくかを検討してまいります。

【6】南台中央公園の遊具について

南台中央公園には、以前滑り台とブランコが設置されていた。劣化し、どちらも撤去されたのちに新しい滑り台のみが設置された。以前のように、ブランコも設置してほしい。

⇒【村長コメント】

安全点検や劣化を経て遊具が撤去され、以前あったものをもう一度設置してほしいという要望は、他の地区からもある。子供たちの貴重な遊び場の一つとして、もう一度ブランコを設置できないか検討する。

⇒【道路整備課コメント】

毎年遊具の定期点検を実施し、安全上問題のある遊具の撤去や補修をしています。

遊具の撤去後は、自治会要望や公園の利用状況、まわりの公園の遊具設置状況をもとに遊具更新の検討をさせていただいております。

南台中央公園のブランコの設置は来年度行う予定ですので、それまでは付近の南台児童公園1・2・3にあるブランコで遊んでいただければと思います。